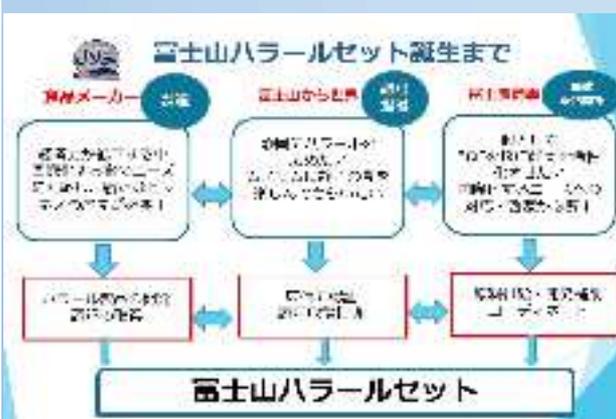




富士山ハラルセットの誕生

地元の企業が連携した富士山ハラルセット

活動を続けていく中、同じ志のもとにハラル食の開発に取り組むメーカーや関係者ともつながりができてきました。しかし単体の商品では競争力も弱く、ムスリム自体が静岡を訪れない中では営業や販路拡大が難しい、という意見が多数でした。そこで各社が開発した製品をセットにすることで、商品全体の価値をあげ、販路の拡大につなげられるのではと考え、食品メーカー5社、認証団体1社、食品卸会社1社の合計7社が連携した「富士山ハラルセット」（食事版・スイーツ版）の開発に着手しました。



セットは、食事版 ①静岡おでん（のはの字食品） ②ふりかけ（ごまかつお、わさびふりかけ）（磯駒海苔） ③静岡産のオリーブ豆カレー（シズナル）の3種類。スイーツ版は、①緑茶ティーパック（キムラ加工） ②富士山羊羹3個パック ③やぶきた元祖茶の茶飴（②③望月茶飴） ④ラテ（いちご・抹茶2種）（磯駒海苔）の4種類で構成しました。

セットの意義と見えてきた課題

これはNPO法人「富士山から世界」がハラル認証した商品をセットにしたものです。地元の食品メーカー、認証団体、食品卸が「ムスリム」をターゲットに連携しセット化して開発をした例はまだなく、日本で初のビジネスモデルとなりました。これは弊社が取り組もうとしている「静岡ハラルサプライチェーン構想」（地元の飲食店や土産物店、ホテル、観光地などが連携してムスリムへの対応を行う体制づくり）の具体的な第1歩ともなります。

しかし商売としては、実際にお土産店の棚に常設するには、ムスリム自体ほとんど訪れない静岡の店では厳しいとの回答。ムスリムと言ってもアジア、中東、アフリカ他と多岐にわたり、食文化や味覚も違うためセットでは買いにくい、というムスリムの意見や、賞味期限の統一といった課題もでてきました。その一方、新たな静岡での取り組みとして全国的な注目を集め、各地から多くの問い合わせをいただき、首都圏に商品が流れ、学生の研究対象になるという波及効果もでてきました。これからは内容を再度練り直し、参加企業や商品アイテムを増やしていくことでセットを充実させ「食の都・静岡」をPRしていきたいと思えます。

